



鹿児島県立図書館

県図だより

ホットニュース

子ども読書の日フェスティバル



昨年の一館長の様子

4月23日は「子ども読書の日」です。この日、スペインでは親しい人に本と花を贈り合う「サン・ジョルディの日」。また、『ロミオとジュリエット』の作者シェイクスピアや『ドン=キホーテ』の著者セルバンテスらの命日であることにちなんで、ユネスコが「世界図書・著作権の日」と定めています。「子ども読書の日」は、日本の子供たちの読書活動について関心と理解を深め、子供が積極的に読書活動を行えるように、2001年に文部科学省によって制定されました。読書推進運動協議会は、4月23日から5月12日の期間を「子どもの読書週間」としています。

当館では、令和7年4月20日(日)～5月11日(日)に「子ども読書の日フェスティバル」のイベントを開催します。期間中の皆様のご来館をお待ちしています。

おはなしのじかんスペシャル 日時: 4月20日(日)14時00分～14時50分 場所: 大研修室

みどりのおはなしのじかん 日時: ①4月23日(水), ②4月30日(水) ※いずれも15時30分～16時00分
場所: 児童庭園※雨天時は室内に変更

「毎月23日は子どもと読書の日」ポスター原画コンクール入賞作品展
日時: 4月18日(金)～5月6日(火) 場所: 玄関ホール

図書館で探そう、調べよう!

本の巻末の「参考文献」に書かれている資料を読みたい!

「読んでいた本の巻末に載っていた『参考文献』を読みたいが、県立図書館にあるのか。ない場合はどのような手段で探することができるのか」という質問がありました。

まずは、当館の蔵書検索です。当館のホームページからも利用することができます。蔵書検索で見つけた本もありましたが、ほとんどは所蔵していない論文でした。そのため、次にwebサイト「Cinii」(<https://cir.nii.ac.jp/>)を紹介しました。大学や研究機関の資料の所蔵情報や論文の検索ができるwebサイトです。「論文・データをさがす」で検索すると、資料によってはPDFファイルが公開されており、インターネットで論文そのものを読むことができます。さらに、公的な機関が公表している資料の場合は、インターネットのGoogleなどの検索エンジンでタイトルを入力すると、公開されているPDFが見つかることがあります。

県内図書館の所蔵もなく、インターネットの公開もない論文については、国立国会図書館や所蔵している大学などに複写物の取り寄せを依頼することが可能です。その際は、掲載誌やページ等の特定が必要です。図書館を通しての依頼が必要な場合もあります。これらの方法を案内すると、「こんな方法があるんですね、調べてみます。」と嬉しそうにカウンターを後にされました。

《一般図書》 4月15日(火)

新着図書案内

《児童図書》 4月23日(水)

○空気はいかに「価値化」されるべきか

「かけがえのなさ」の哲学東大リベラルアーツ講義

東京大学東アジア藝文書院/編
東京大学出版会

○ウミウシを食べてみた

中野 理枝/著 文一総合出版

○性的同意は世界を救う

子どもの育ちに関わる人が考えたい6つのこと

斉藤 章佳/著 櫻井 裕子/著
時事通信出版局

○はやくねないとたいへんだ!

サトシン/作, 中谷 靖彦/絵 教育画劇

○イズミ

小手鞠 るい/著 偕成社

○トイ プードルのプリンセス?

トウイ・T・サザーランド/作 相良 倫子/訳
徳間書店



左の二次元コードから今月の新着資料全てを御覧いただけます。画面上段のプルダウンリストから館種と図書館別が選べます。お捜しの分類(歴史, 文学全般 等)をお選びください。

催し物の御案内



○ 一般閲覧室ミニ展示

4月1日(火)～4月30日(水)

「あなたの初挑戦、応援します!」

新年度を機に、なにか新しいことにチャレンジしてみませんか?様々な分野の入門書を集めました。これをきっかけに「初めて」に挑戦!

5月1日(木)～5月31日(土)

「金の鈴～棕鳩十の世界～」

今年は棕鳩十生誕120年。棕鳩十の作品や作中で取り上げられた動物に関する本を紹介いたします。

○ 児童文化室ミニ展示

4月23日(水)～5月21日(水)

「完成!にじいろのほん改訂版!」

4月1日に改訂版が公開された、「おとなになるまでによみたい にじいろのほん」に選ばれた本を紹介いたします。

職員のつぶやき

黒牛が日本一の和牛として評価されたり、お茶の生産量が日本一になったりと、鹿児島が注目される機会が増えてきました。「PRが下手」と言われて久しい鹿児島県民の一人としては、余計に嬉しく思います。

ところで、鹿児島の土地柄でもあるこのPR下手について、『薩摩の豪商たち』(春苑堂出版)という本でおもしろい話を読みました。江戸時代前期に活躍した作家・井原西鶴も『織留』という作品で言及していたようなのです(ちなみに『織留』は国立国会図書館デジタルコレクションで読むことができます)。扱う品も質も良いものなのに薩摩人の商売の不得手は、江戸時代から言われていたとは驚きでした。鹿児島の良いニュースを聞くたび、最近の良い流れに乗ってこの連綿と受け継がれてきた気質もいよいよ払拭できるのでは、と思うこの頃です。

今回紹介していただいた宝本は、かたおか けいこ/作, 松成 真理子/絵の

『おかあさんのまほうのおうかん』(ひさかたチャイルド)です。

幼少期、公共図書館でこの本に出会い、借りてもらって母に読み聞かせをしてもらいました。当時の私は、この本の主人公と同じように泣き虫でしたが、物語に出てくるママからもらった、目には見えないし触ることができないけれど、「泣き虫」という虫を追いはらう「魔法の王冠」から、私は勇気もらい、少しずつ泣き虫を卒業していきました。今でもこの本の存在が私の心を支えてくれています。

(高校2年生)



児童文化室から

にじいろのほん『よるくま』酒井 駒子/作・絵(偕成社)からのクイズです。

よる くまが さがしていたのは?

①おもちゃ ②はちみつ ③おかあさん

ヒント

やさしくて おおきいよ

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、5月14日(水)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「①おうさま」でした。たくさんのお応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

月	日	月	火	水	木	金	土
	13	14	15	16★	17	18	19◆
4	20	21	22	23★	24	25	26
	27	28	29	30▶	1	2	3
5	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14★	15	16	17◆

開館時間 火曜日～土曜日: 9時～21時

日曜日・祝日: 9時～17時

- は、休館日、白抜は午前9時～午後5時
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分～16時)
- ◆ は、土曜日おはなしのじかん(第3土曜日14時～)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(4月15, 30日, 5月15日予定)
- は、児童文化室新着図書の日(4月23日)
- は、学習室のみ開館(午前9時～午後5時)

カバー、ページ破れ等の破損等を見つけたら、御自身で修理せずに、カウンターまでお持ちください。